

せきしょうかん
国登録有形文化財 藤崎家住宅・赤松館 講演会

明治和風建築の美意識

講師：原田聰明

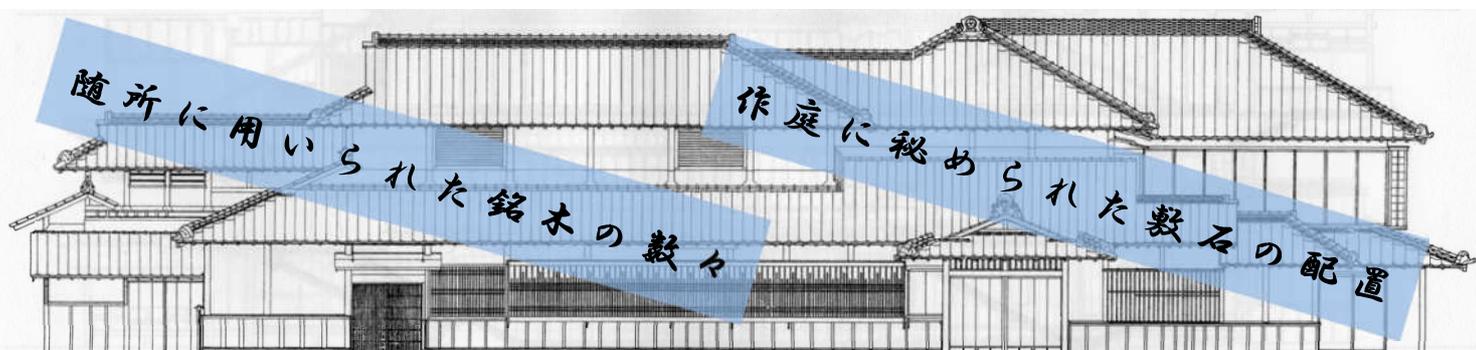
熊本大学教育学部非常勤講師(文化財保護)

崇城大学工学部非常勤講師(日本建築史)

近代日本を象徴する赤松館。この建物には、施主藤崎彌一郎の信念と建造に携わった職人(大工・左官・木挽など)の手のぬくもりが感じられます。

そこには、日本人の美意識がいろいろな所にちりばめられており、先人の尊さ、偉大さを肌で感じ取れる空間です。

床の間の様式 “真・行・草”とは...



講演会当日は普段未公開の“御居間”を初公開!

日時：平成29年2月19日(日)

午後1時30分～午後3時

場所：芦北町田浦788

赤松館・米蔵

資料代：500円 定員：30名



御居間の床の間

藤崎家住宅・赤松館は藤崎家五代目当主藤崎彌一郎により、明治26年(1893年)に芦北の地の迎賓館として建造されました。しかし翌明治27年日清戦争が勃発し、主屋二階部分は未完成のままとなっています。「高い水準の大工技術を有する近代和風建築である。」として平成12年(2000年)国登録有形文化財に登録されました。

この講演会は水俣・芦北地域振興計画に基づく地域振興事業として、
(公財)水俣・芦北地域振興財団の助成により実施しています。

◆お問合せ◆ 〒869-5302 熊本県葦北郡芦北町大字田浦788番地 NPO法人赤松館保存会
<http://sekisyoukan.jp> Tel 0966-87-2866 (電話は土・日・月 10:00~16:00のみ可)